

(別記)

令和7（2025）年度関ヶ原町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

関ヶ原町は、岐阜県の南西部に位置している。

農業生産は、水稻の作付を主体としており、転換作物にそば、小麦、大豆、加工用米、飼料用米、野菜等がある。ほ場区画が小さく、基盤整備田の一部で暗渠排水の整備が進められているものの湿田が多く、麦、大豆等土地利用型農業について困難を極めるほ場が多い。また、鳥獣被害が多いため転換作物の作付及び定着には不利な条件下にあり、土地利用率が低い。

このため、当地域においては、金網柵設置による鳥獣対策を推進し、収益につながる対策を支援しているが、一方で農業従事者の減少や高齢化による担い手確保と育成が課題となっている。今後も積極的に担い手の確保に努め、効率的かつ収益性の高い農業の実現に向けて本対策を推進していく。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

（1）高収益作物の導入

当地域では、これまでも国の産地交付金を活用して、主食用米からの作付転換の推進などを進めるとともに、生産性が向上する栽培技術の普及を図ることで、水田収益力強化による経営安定化につなげている。

一方で、中山間地域等では鳥獣被害が多く、転換作物の作付や定着に不利な条件ではあるが、金網柵等の設置による鳥獣対策を推進し、需要のある野菜の生産等を推進している。

稲作農業者の更なる経営安定のため、地域振興作物の作付による稲作農業者の複合経営の推進が必要である一方、支援体制の強化や機械化による安定生産、安定供給が課題である。また、鳥獣被害等が多く、農地集積等が進めづらい地域においては、引き続き鳥獣対策を実施し、野菜等の生産を推進するとともに、直売所等への出荷を目的とした所得向上につながる取組を支援する必要がある。

このため、当地域では農協、農業者、市町村が協力し、課題解決に向けて取り組む。

（2）転換作物等の付加価値の向上

当協議会における田本地面積は、耕作面積の83.3%を占める200haであり、中山間地域となっている。このような状況下で主食用米の作付面積は88.6haと水田面積の約44%にあたり、主食用米の作付面積は減少していないが、麦、大豆、飼料用米、加工用米などへの転換は進んでいる。

転換が進む一方、課題として、低コスト生産への取組がある。麦大豆では、ブロックローテーションによる水田高度化の取組を推進しているが、更なる団地化等の取組による拡大、非主食用米では、直播栽培の技術導入など、低コスト化の取組を加速する。

また、転換作物についても需要に応じた取組が重要であり、麦大豆では需要者等の要望に応える品質や収量の確保に務め、安定供給できる体制を進めていく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

田本地面積は耕地面積の83.3%を占める200haであり、中山間地域である。また、自己保全管理など約33haの不作付地が存在しており、現在も高齢化や鳥獣被害などの影響もあり増加傾向にある。

水田では農地集積が進んでいるが、労働力を要する果樹などの畑地では集積が遅れてお

り、農地の利用状況の可視化や労働力の確保が課題となっている。

水田利用率を高め、不作付地の発生防止・解消をするため、地域ではブロックローテーションによる水田高度化を推進している。複数の作物の組合せによる二毛作などにより、引き続き水田の高度利用を促進する取組を支援する。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

前年の需要動向や集荷業者との意向を勘案して、減農薬、減化学肥料等による「安心・安全・健康」をテーマに、高品質で消費者や需要者のニーズに即した生産体系を目指し、同一品種の団地化や栽培方法の統一化を進め、売れる米づくりの推進を図る。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、飼料用米を転換作物に位置づけ、産地交付金を活用し担い手に集積して生産向上と推進を図る。

イ 加工用米

主食用米の需要減が見込まれる中、加工用米を転換作物に位置づけ、産地交付金を活用し担い手に集積して生産向上と推進を図る。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦については、担い手への集積を図りつつ品質評価に基づいた技術体系の改善に取組み、全農岐阜を經由する民間流通による契約栽培の円滑な推進を図る。

大豆については、担い手への集積を図りつつ全農岐阜を經由して全量出荷し、需要者ニーズに応える品質やロットの確保に努める。

(4) そば、なたね

種子更新や、作業体系の変更により収量増を目指す。地域の需要者との契約に基づき更なる作付面積の拡大を図る。

(5) 地域振興作物

特産振興野菜（かぼちゃ、なす、ブロッコリー、ねぎ、さといも、たまねぎ、キャベツ、じゃがいも）について、更なる作付面積の拡大や品質向上と生産拡大図り、農用地の高度利用と農業者の収益向上を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	82.9	0	88.6	0	88.6	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	18.60	0	11.72	0	11.72	0
米粉用米	0	0	0.05	0	0.05	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	0	0
WCS用稲	0	0	0	0	0	0
加工用米	1.85	0	2.0	0	2.0	0
麦	11.80	0	21.43	0	21.43	0
大豆	10.86	10.86	15.92	15.92	15.92	15.92
飼料作物	0	0	0	0	0	7
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	3.70	0	3.68	0	3.68	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	0	0	0	0
地域振興作物	0	0	0	0	0	0
・野菜	0.34	0	4.97	0	4.97	0
・花き・花木	0	0	0.1	0	0.1	0
・果樹	0	0	0.57	0	0.57	0
その他	0	0	0	0	0	0
・その他作物	0	0	0.05	0	0.05	0
畑地化	0	0	0	0	0	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	2024年度		2025年度	
				前年度（実績）		目標値	
1	飼料用米 加工用米	低コスト化への助成	作付面積	飼料用米	18.6ha	飼料用米	11.72ha
				加工用米	1.85ha	加工用米	2.0ha
				合計	20.45ha	合計	13.72ha
			生産費	飼料用米	112.4千円/10a	飼料用米	112.4千円/10a
				加工用米	112.4千円/10a	加工用米	112.4千円/10a
2	麦（基幹作） 大豆（二毛作）	麦・大豆への助成	作付面積	麦	11.8ha	麦	21.43ha
				大豆	10.8ha	大豆	15.92ha
				合計	22.6ha	合計	37.35ha
			単収	麦	311.0kg/10a	麦	300.0kg/10a
				大豆	86.5kg/10a	大豆	85.0kg/10a
3	そば	そばへの助成	作付面積	そば	3.7ha	そば	3.68ha
				単収	そば	76.6kg/10a	そば
4	かぼちゃ なす ブロッコリー スイートコーン ねぎ さといも たまねぎ キャベツ じゃがいも	地域振興作物への助成	作付面積	かぼちゃ	0.0ha	かぼちゃ	0.03ha
				なす	0.0ha	なす	0.04ha
				ブロッコリー	0.2ha	ブロッコリー	0.13ha
				スイートコーン	0.0ha	スイートコーン	0.03ha
				ねぎ	0.1ha	ねぎ	0.2ha
				さといも	0.0ha	さといも	0.21ha
				たまねぎ	0.0ha	たまねぎ	0.04ha
				キャベツ	0.0ha	キャベツ	0.03ha
				じゃがいも	0.0ha	じゃがいも	0.19ha
				合計	0.3ha	合計	0.70ha
5	野菜 果樹 花き・花木 その他作物	野菜等への助成	作付面積	野菜	0.3ha	野菜	0.32ha
				果樹	0.0ha	果樹	0.05ha
				花き・花木	0.0ha	花き・花木	0.05ha
				その他作物	0.0ha	その他作物	0.05ha
				合計	0.3ha	合計	0.47ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:岐阜県

協議会名:関ヶ原町農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	低コスト化への助成	1	12,000	飼料用米、加工用米	ドローンによる防除の実施等
2	麦、大豆への助成	1	2,000	麦、大豆	排水対策等
2	麦、大豆への助成(二毛作)	2	2,000	麦、大豆	排水対策等
3	そばへの助成	1	20,000	そば	排水対策等
3	そばへの助成(二毛作)	2	20,000	そば	排水対策等
4	地域振興作物への助成	1	23,000	かぼちゃ、なす、ブロッコリー、スイートコーン、ねぎ、さといも、たまねぎ、キャベツ、じゃがいも	対象作物を出荷・販売すること
4	地域振興作物への助成(二毛作)	2	23,000	かぼちゃ、なす、ブロッコリー、スイートコーン、ねぎ、さといも、たまねぎ、キャベツ、じゃがいも	対象作物を出荷・販売すること
5	野菜等への助成	1	5,000	別紙のとおり	対象作物を出荷・販売すること等

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

作物	野菜	58	果樹	18	花き・花木	4
具 体 的 内 容	200 きゅうり	276 マコモタケ	401 日本なし	500 花き		
	201 トマト	283 ちぢみほうれんそう	402 西洋なし	501 菊		
	203 ピーマン	285 モロヘイヤ	403 もも	504 花木		
	205 いちご	280 オクラ	404 うめ	908 種苗類		
	206 すいか		405 びわ			
	207 メロン		406 かき			
	209 カリフラワー		407 くり			
	210 はくさい	<飛騨美濃伝統野菜>	408 いちじく			
	211 ほうれんそう	237 あきしまささげ	409 キウイフルーツ			
	214 レタス	238 あじめコショウ	410 ブルーベリー			
	215 だいこん	239 きくいも	411 ゆず			
	216 にんじん	240 菊ごぼう	412 りんご			
	218 れんこん	241 桑の木豆	413 ぶどう			
	219 しょうが	242 沢あざみ	414 その他果樹			
	220 えだまめ	243 十六ささげ	415 みかん			
	221 青さやいんげん	244 千石豆	420 一般山椒			
	223 じゃがいも	248 飛騨紅かぶ	421 パッションフルーツ			
	224 さつまいも	249 まくわうり	422 南天			
	225 アスパラガス	250 守口だいこん				
	226 きのご類	251 わしみかぶら				
	227 その他野菜	253 弘法いも				
	229 ふき	255 種蔵紅かぶ				
	230 かぶ	258 紅うど				
	231 みょうが	262 島ごぼう				
	232 しろかぶ	263 久野川かぶら				
	233 ささげ	279 仙寿菜				
	234 なばな	281 葉わさび				
267 くわい	282 小松菜					
268 その他湛水性野菜						
269 グリンピース						
272 にんにく						
273 自然薯						
274 一寸空豆						
275 ヤマトイモ						
				その他作物	2	
				<工芸作物>		
				279 こんにゃくいも		
				<豆類>		
				287 小豆		